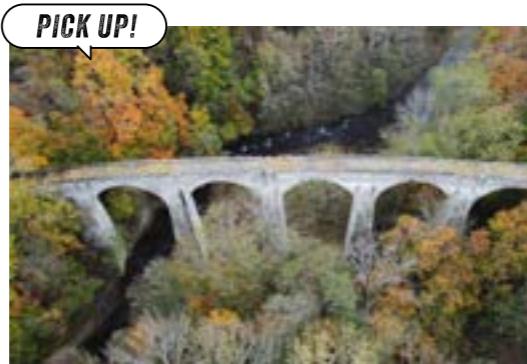


知床博物館つて  
何があるの？



最近の  
博物館の  
取り組み



町民入館料無料！

2024年4月1日より、斜里町民は博物館の入館が無料になりました。「博物館は町の人のためのもの。入館料が興味・关心の足かせになるのはもったいない」。そんな学芸員さんの想いから実現したそうです。

クラウドファンディングに挑戦

かつて計画された斜里町と標津町を結ぶ国鉄旧根北線の鉄道開通。その一部として完成した、国の登録有形文化財 越川橋梁の保全のためクラウドファンディングに挑戦。これを機に、日本全国に越川橋梁の存在が広がり寄付につながりました。



## 展示だけじゃない？ 博物館のみりょく

斜里町にある知床博物館。  
その展示の見どころは、なんといっても標本の数。  
でも、知床博物館の特徴はそれだけではないんです。  
そこで今回は、知床博物館の取り組みやおすすめのポイントをご紹介します。

(2024年度)  
来館者数

**11,451**名

(うち町民割合:45%)

観光客や外国人はもちろん、町民も多く足を運ぶ博物館。「観る」だけでなく講座を通じた交流の場や、ふらっと立ち寄るサードプレイスとして活用する人も。

(2024年度)  
生涯学習連携事業数

**63**件

(参加者数:のべ1,389名)

町内の幼稚園から小中高、さらには生きがい大学などで教育・普及活動を定期的に実施。ルシャ巡りや生物標本づくりなど知床ならではの内容ばかりです。

(2024年度)  
講座参加者数

**467**名

遺跡巡りや地質観察、トンボ玉づくりなど毎月さまざまな講座を開催。星座観察は家族連れての参加が多くみられます。冬に行われるフレペの滝や神の子池などのスノーシューツアーも人気です。

数字で見る  
知床博物館

企画展も  
24回実施！  
(2024年度)



佐々木 剛志 館長

